こんな患者さん、いませんか ･･･？ Part 2

疑問 ②

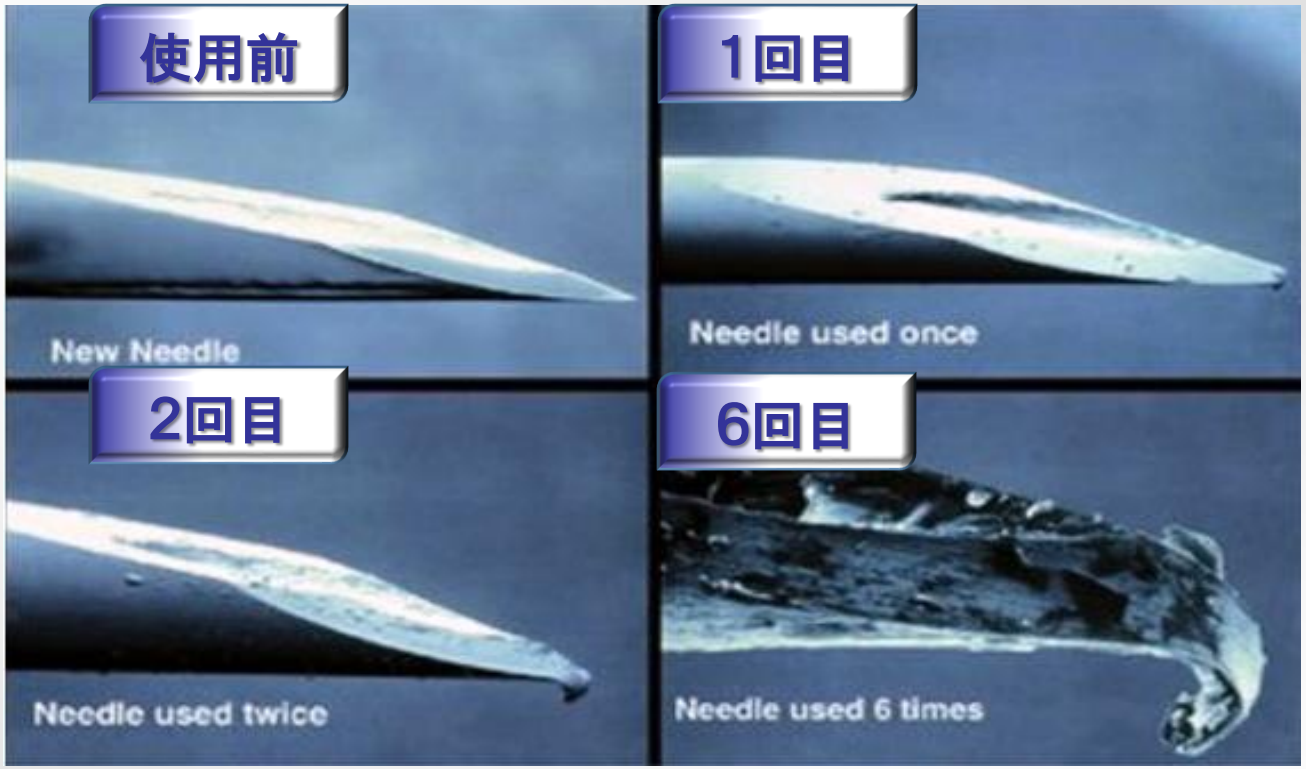
インスリンの注射を打つたびに
針を変えるのはもったいない
お金もかかるでしょ

2型糖尿病　Aさんの疑問

最近の受診でずっと針はいらないよ････
って言ってたな～

こんな患者さん、いませんか ・・・？

① 実は、痛いんです・・・



針先が変形して痛みが増加したり傷口が大きくなったり・・・
感染の可能性が高まることもあります

こんな患者さん、いませんか ・・・？

② インスリン、使えなくなっちゃうかも

針をつけたままにしておくと・・・

細菌混入によりインスリンの品質が低下することがあります

針の内部が目詰まりして、注射できなくなることも

③ 針、1個あたりのお値段は・・・？

1個 15円 ～ 18円

原栄子(2013).薬物指導における「困った」を解決
もったいないと何度も同じ針を使う人に困った 糖尿病ケア10(6)pp61-63

こんな患者さん、いませんか ・・・？

④ もしかしたら・・・

よ～く聞いてみると・・・・

実はよく見えなくて・・・・

手がうごきにくくて
針がつかめなくて・・・

糖尿病性網膜症・神経障害がすすんでいることも

原栄子(2013).薬物指導における「困った」を解決
もったいないと何度も同じ針を使う人に困った　糖尿病ケア10(6)pp61-63

症例患者さんへの説明

痛みの増強・感染のリスクがあります

- ✓ インスリンの液が出ない、感染してしまう・・・等、トラブルが生じることも
- ✓ 災害時においては2回まで針の使用は可能

結果的に費用が嵩んでしまう可能性も・・・

こんな患者さん、いませんか ･･･？ Part 3

疑問 ③

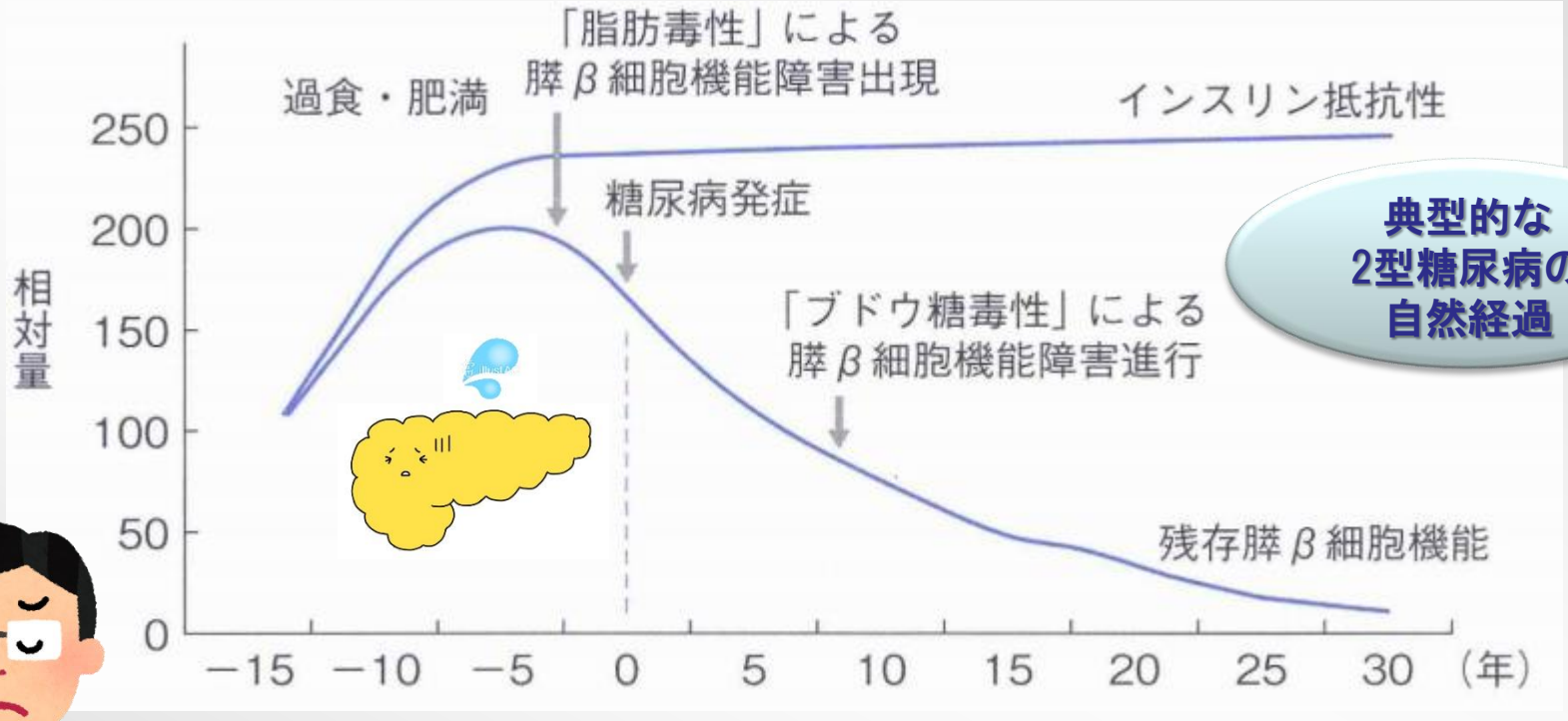
**インスリンの注射を使うと
自分の膵臓が
怠けちゃうんじゃないの？**

2型糖尿病　Bさんの疑問

注射が嫌だって言ってたのは
膵臓が怠けちゃうと思ってたんだ･･･

こんな患者さん、いませんか ・・・？

① あなたの膵臓 疲れています



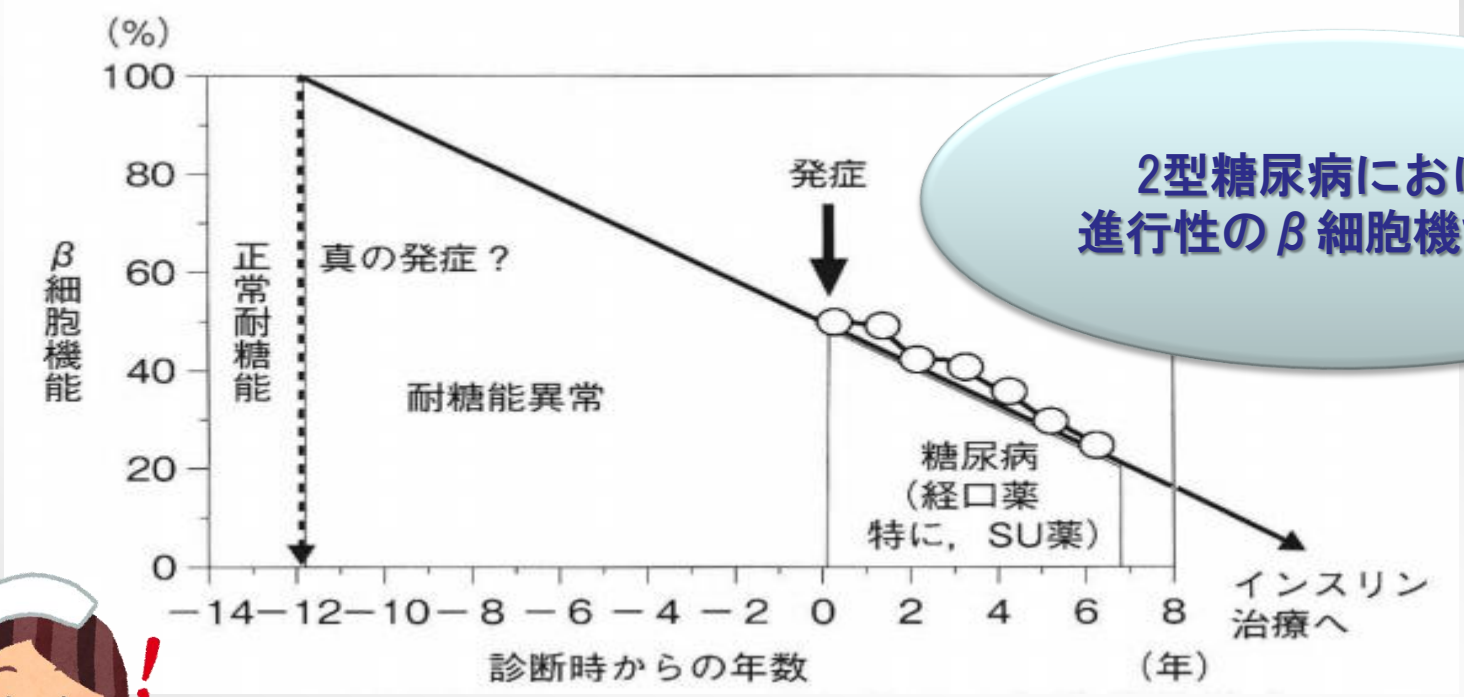
典型的な
2型糖尿病の
自然経過

血糖値の維持のためより多くのインスリンが分泌される
⇒ 膵β細胞の疲弊 ⇒ インスリンが分泌できなくなる

金藤秀明(2014). 糖尿病の病因と診断(3) PRACTICE31(3)pp285-287

こんな患者さん、いませんか ・・・？

② 糖尿病発症時、すでにβ細胞は・・・



2型糖尿病における進行性のβ細胞機能障害

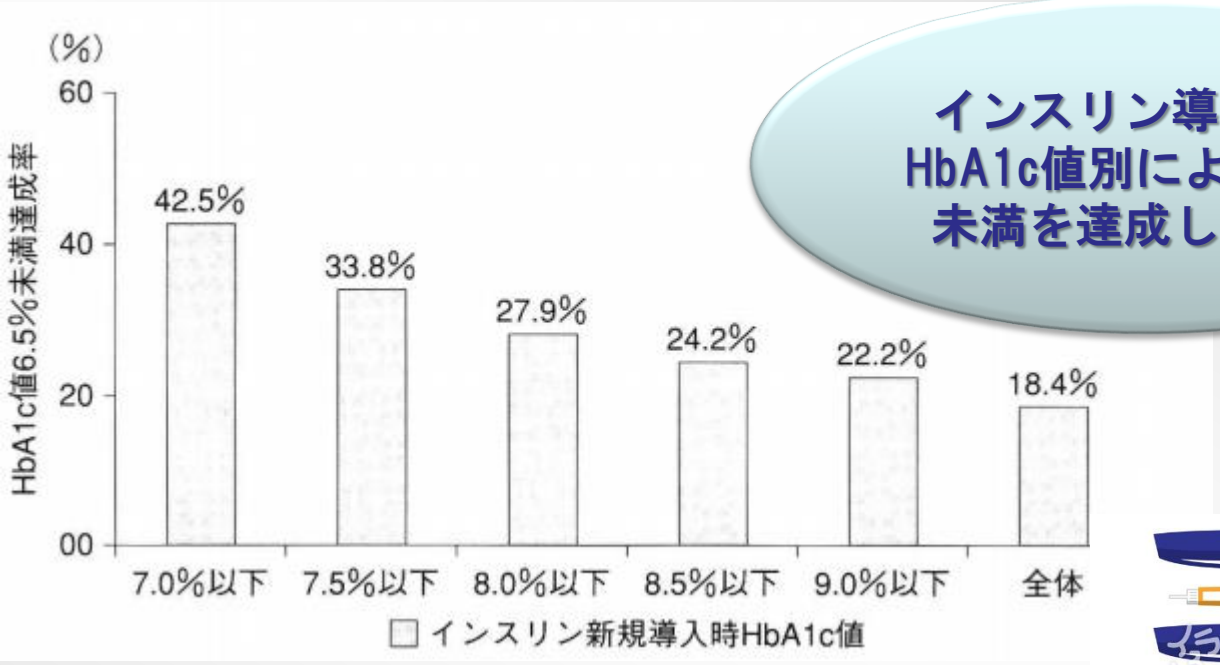
糖尿病の症状・検査所見の発症の時点
⇒ β細胞の残存機能は半分に減少

早期からのインスリン補償療法の必要性

勝野朋幸 楠宜樹 難波光義(2014). インスリン早期導入効果とインスリン後期導入における工夫 インスリン療法の現状. Pharma Medica 32(2)pp63-69

こんな患者さん、いませんか ・・・？

③ 早めのインスリン療法導入によって・・・



インスリン導入時の
HbA1c値別による6.5%
未満を達成した割合

インスリン導入時のHbA1cが高いほど
目標の血糖コントロールの達成率が低くなる

大杉満(2014). 糖尿病治療におけるインスリン療法の新な展開
Progress in Medicine 34(12)pp151-160

こんな患者さん、いませんか ・・・？

① β細胞の機能を保護

早期にインスリン療法を導入
⇒ 膵β細胞機能を保護する

インスリン離脱の可能性もあります

近藤義宣 寺内康夫(2016).第23回 糖尿病のここがわからない β細胞保護を考える
～インクレチンとインスリンどちらがベターなのか～ Diabetes Strategy6(4)pp27-32

症例患者さんへの説明

Bさんの膵臓、疲れてるんです

- ✓ 多くのインスリンを分泌した結果、膵β細胞が疲弊しています
- ✓ インスリン注射で休ませてあげませんか？

早くにインスリン療法を導入すると
その後の血糖コントロールも良くなります

ご清聴
ありがとうございました